

July
2020

一岩手県民のてとてをつなぎ、環境の輪を広げるためにー

お家時間楽しく過ごそう!! 親子で工作



新型コロナウィルスの影響でお家の中で過ごすことが多くなりました。そんな皆さんにお家時間を楽しく過ごせる「電気エネルギーを使わない遊びエアカーリング」の紹介です。エアカーリングはお家で作って楽しく遊べるグッズです。図を参考に作り、楽しい時間を過ごしましょう。

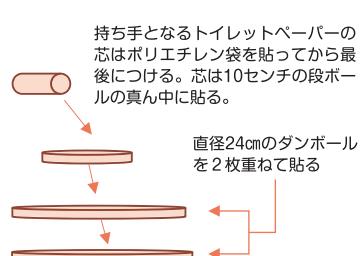
「エアカーリング」の作り方

●準備するもの

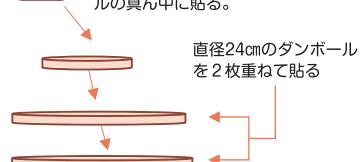
ダンボール（24cm×24cm 2枚、10cm×10cm 1枚）、トイレットペーパーの芯1本、マチ付きのポリエチレン袋1枚、ハサミ、鉛筆、糊又はボンド、両面テープ、油性ペン、セロテープ

●作り方

①ダンボールを直径10cmの円形に1枚カットする。

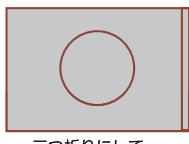


②ダンボールを直径24cmの円形に2枚カットして糊またはボンドで貼り合わせる。



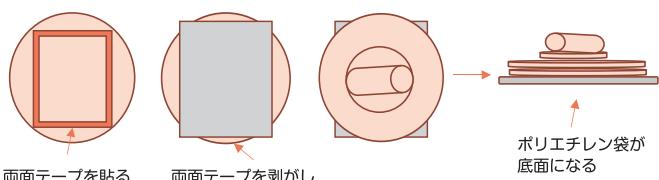
③ポリエチレン袋1枚（20cm×34cm程度の物）

- 出来上がり25cm折り返し2cmを残し、余りをカットする。
- 25cmのところに破線、折り返しに1cmづつ破線しるしをつける（合計2cm）。
- 袋状のポリエチレン袋の一枚目の中心を10cmの円にカットする。



エアカーリングで遊ぶ様子

- ④2枚重ねした段ボールの底に両面テープを貼る。両面テープを1か所づつ剥がしながらポリエチレン袋をずれないように貼る（穴が開いている方が底になる）。



- ⑤ポリエチレン袋を貼った面を下に、小さな円の上に持ち手となるトイレットペーパーの芯を上に貼り完成！

【みんなの作品】

飾りや色を付けて自分だけのエアカーリングを作ってみてね！



《注意》

ポリエチレン袋は強く置くと破るので優しく静かに空気が入るように置くこと。

《遊び方》工夫してみてくださいね。

- ・ゴールを決め一番近い人が勝ち
- ・一番遠くまで滑らせた人が勝ち
- ・空ペットボトルを利用してエアカーリングで倒す

新型コロナウィルスの影響で、4月～6月のセンター事業は、ほとんどが停止となりました。これまで経験したことのない事態です。少しずつ先が見えてきましたが、まだ油断はできません。出張環境学習会、訪問学習などが始まり、皆さんとお会いできるのを、スタッフ一同とても楽しみしています。ぜひ、お声がけください。

今回は前号で紹介したエアカーリングの作り方を紹介します。お家で作り部屋の中でも遊べます。あまりによく滑るので、びっくりするのは間違いないありません！



Index

- お家時間楽しく過ごそう!! 親子で工作
- センター情報
- 「水素利活用推進プロジェクト」の紹介
- SDGsに取り組む中小企業家同友会の活動
- 環境学習交流センターイベント情報

環境学習講座 & 出張環境学習会

THE SDGs Action Cardgame「X」(クロス)と SDGsスゴロクゲームを開催しました!!

環境学習講座

開催日：6月14日（日）
対象：一般
内容：スゴロクゲーム、カードゲーム「X」(クロス)

出張環境学習会

開催日：6月16日（火）（環境学習広報車エコカーゴで訪問しました）
対象：花巻市立新堀小学校5年生

★ THE SDGs Action Cardgame「X」(クロス)

SDGsをより身近に感じてもらうため、センターオリジナルのビックなカードでカードゲームを楽しみました。

6月14日に参加した中学2年生は、「カードを使い課題を解決することが、こんなに楽しく面白いこととは思わなかった」、「SDGsの問題は、難しいと思っていたが、みんなでアイデアを出し合い、身近なところから変えられるという発見がありました」と感想を述べました。



出張環境学習会（新堀小学校）



環境学習講座

新堀小学校の5年生は、床に置かれたカードに興味津々、個性あるアイデアが次々飛び出し、終始笑顔に包まれました。

Cardgame「X」(クロス)の面白さは、参加者の新しいアイデア（冷暖房のいらない暮らし、ファッショントップなど）がどんどん出てくることです。今後も定期的に開催していきます。皆さんの興味と関心、新たな魅力を発見するチャンスになるに違いありません。ぜひ皆さんご参加ください ☺

★ SDGsスゴロクゲーム

SDGsスゴロクゲームは、自分たちでスゴロクを作るところから始まります。参加した小学2年生の男の子は、小さい子ならではのアイデアと感じたことを書き入れ一所懸命に作っていました。ゲームが終わると「楽しかった！またやりたい！」と男の子は笑顔で帰っていました。

子ども達に身近な遊びのスゴロクと、SDGsを合わせるこのゲームは、抵抗感なく世界の問題を知り、考えるきっかけを与えてくれます。



SDGsスゴロクゲーム

環境学習交流センターでは、この他にカードゲーム「2030 SDGs」、カードゲーム「SDGs de 地方創生」など新しい講座も企画中です。お楽しみに ☺

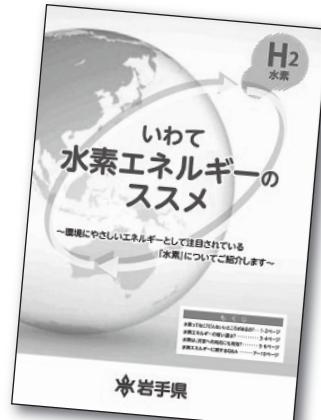
いわて県民計画「水素利活用推進プロジェクト」の紹介



FCV（燃料電池自動車）出典：トヨタ自動車株式会社

いわて県民計画（2019～2028）には、新しい時代を切り拓く11のプロジェクトが掲げられており、そのひとつが「水素利活用推進プロジェクト」です。2019年3月「岩手県水素利活用構想」が策定され、取組が始まりました。

水素は、利用の際にCO₂を排出しない大きな特徴があります。化石燃料の使用による地球温暖化が重大な課題となる中、新たなエネルギー源として注目されています。



水素は、気体や液体にして運搬、貯蔵が可能なため、風力、太陽光など再生可能エネルギーのさらなる普及に向けて、余剰電力を水素にして蓄え、必要な時にエネルギー源とする方法に期待が高まっています。

水素は、水素燃料電池自動車などのモビリティ分野、エネファームなどの家庭用燃料電池、産業用燃料電池などで利用されています。災害時の停電にも対応可能な自立・分散型のエネルギーとしての活用が期待されています。

「いわて水素エネルギーのススメ」

岩手県では、県民の皆さんに広く水素の利活用について知っていただくため、環境にやさしいエネルギーとして「水素」を紹介する冊子を発行しています。

(<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/kankyou/seisaku/1022259/1022260.html>)

SDGsに取り組むことは岩手県中小企業家同友会の活動そのもの

温暖化防止いわて県民会議から、令和2年度のECOアクション賞を受賞した岩手県中小企業家同友会では、およそ400社の会員が日頃から、自主自立を目指した活動を行っています。そして、大震災時から実践してきた「一社もつぶさない、つぶさせない」活動振りは、SDGsの「一人も残さない」精神と重なっているように思えます。

同会の菊田哲事務局長と環境問題との出会いは、2013年までさかのぼります。この年の秋、ドイツのフライブルクを訪れた菊田さんは、「世界で一番寒い家に住んでいるのは、岩手（北東北）の人たちだ」と指摘され、衝撃と危機感を覚えたと言います。無暖房でも16度以下にならない木造4階建て集合住宅、地域暖房、電熱併給などを目の当たりにして、従来の我慢の家づくりから、高齢化社会でも健康寿命を延ばせる、具体的には、脳梗塞に影響するヒートショックの発生を極小化する、住環境機能の高度化が急務だと感じたほか、エネルギー自立のための事業の必要性を意識したそうです。これまで延べ85名の同友会会員がヨーロッパを視察し、7年間で100回以上の、エネルギーシフト（＊ヴェンデ）研究会主催の勉強会を開催してきましたが、エネルギー自立のポイントは、一つひとつ家庭や企業が「エネルギー会社」になることによ

り、将来的にエネルギー供給を可能にすることだそうです。エネルギーを漏らさず、暖房しなくても住める「省エネ」、小さな建物がもたらす「小エネ」、自給自足を成り立たせる「生エネ」、これら3つになりわいとして取り組む「商エネ」の4つを成り立たせることにより、エネルギー・ヴェンデを実現していきます。同友会会員の動きも活発で、同時にECOアクション賞を受賞した高田自動車学校では、校舎を高気密高断熱工法で建設し、大幅なCO₂排出削減とコスト削減を図っています。他の会員からも、視察時の気づきに基づく実践が多く生まれるなど、今後の成果が楽しみです。

家庭が生活スタイルを変え、岩手の企業が様々な分野で連携すれば、これまで地域外に流出していた化石燃料由来の、年間で千億円単位の資金が地域内で循環するので、雇用と仕事を確保できるし、そのようにすべきだという考え方方が大切だと、菊田さんは力説しています。

（注）エネルギー・ヴェンデ

エネルギー源をこれまでの化石・原子力から再生可能エネルギーに転換することですが、経済的にも分散型の投資や地域内におけるお金の循環によって、また社会的にも市民参加型で行われる、広義の転換の意味があります。

シリーズ「地域循環共生圏」

ローカルSDGs -地域循環共生圏づくりプラットフォーム-のご紹介

環境で地方を“元気”にする取組が、始まっています。“地域循環共生圏”とは、各地域が足もとにある地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、環境・経済・社会が統合的に循環し、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方であり、地域でのSDGsの実践（ローカルSDGs）を目指すものです。

環境省ローカルSDGs－地域循環共生圏づくりプラットフォーム（http://chiikijunkan.env.go.jp/shiru/chiiki_gaiyou/）が公開されました。次回以降、県内や全国各地での取組を詳しくご紹介していきます。

1. 地域循環共生圏のつくり方をまなぶ

地域循環共生圏づくりに活用できる様々なツールを紹介します。

2. 森里川海からはじめる地域づくり

－地域循環共生圏構築の手引き－

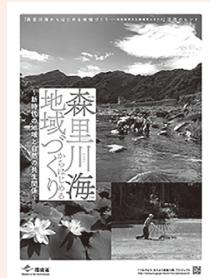
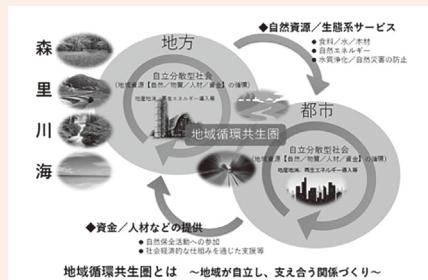
地域の自然資源を使い、地域を元気にしたいと考えてい

る人に向け、地域循環共生圏の構築を進める手法やプロセス、事例、課題解決のヒント、ワークシート等を紹介します。

3. SDGsを使って、社会を変える

～SDGsの考え方を活用して、社会を変えるプロセスを作る～

地域の環境・経済・社会の課題を統合的に解決するためSDGs活用のポイントや、地域課題・事業・運営体制を整理するための可視化ツールの活用法など、モデル地区の事例を踏まえ、紹介します。



環境学習交流センターイベント情報

★夏休み環境学習講座★

◆サイコロゲーム「水の旅」で地球の循環を学ぼう

「コカ・コーラの水はどこかの水？ “水”になりきって地球を旅しよう！」

講 師：浅井勇貴 氏 みちのくコカ・コーラボトリング株式会社

日 時：7月23日（木・祝日）13：30～14：30

場 所：環境学習交流センター

定 員：10名（小学生以上）

◆一緒にSDGsを体験しよう !!

SDGsスゴロクゲームとSDGsアクションゲーム「X」（クロス）の体験です。スゴロクのマスを作成するところからゲームが始まるよ！課題を見つけ解決策を記入、楽しく面白いスゴロクを作ろう！センターオリジナルのピックなカードで気軽にSDGsを体験してみよう！

日 時：7月26日（日）13：00～15：00

場 所：環境学習交流センター

定 員：SDGsスゴロクゲーム10名

SDGsアクションゲーム「X」（クロス）10名

◆未来に続く家づくり

～リサイクル材料でつくるエコハウス工作教室Part 4

岩手県産の木つ端を使って木の家を作ろう！

日 時：8月10日（月・祝日）10：00～12：00

場 所：環境学習交流センター 定 員：20名

夏休み環境学習講座の参加は無料です。夏休みの自由研究にお勧めの環境学習講座となっておりますので、お気軽に電話などでお申込みください。

★センター展示情報★

「World Without Waste (廃棄物ゼロ社会)」を目指して
みちのくコカ・コーラボトリング株式会社

期 間：6月18日～7月31日

プラスチック削減への試み

「廃棄物ゼロ社会」を促進するための施策、製品の製造に使用した水と同等量を自然に帰す活動など、多岐にわたり持続可能な社会を目指す、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社の環境活動について紹介しています。ぜひ、環境学習交流センターに足をお運びください。

● 「いわて環境情報板」（WEB掲示板）発信中です！●

岩手県や県内自治体の環境情報、イベント情報、助成金情報などを中心にお伝えします。

環境という広範囲な話題を、皆さんにとって身近に感じられるよう、その時々のタイムリーな情報と切り口でお届けします。毎月発信していきますので、お楽しみに！

「いわて環境情報板」：<http://www.iwate-eco.jp/know/mailmag.html>

いわて環境情報板

発行 環境学習交流センター

〒020-0045

盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F

TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

◎環境学習交流センターは、認定特定非営利活動法人環境パートナーシップ
いわてが岩手県から委託を受けて、県とNPOとの協働により運営しております。

[E-mail] eco@aiina.jp

[Website] <http://www.aiina.jp/environment/>

[Blog] <http://blog.iwate-eco.jp/>

[Twitter] http://twitter.com/iwate_eco

[Facebook] <https://www.facebook.com/iwate.eco>

